

| | | |
|-----------|--|---|
| 科目名 | 情報整理学 | |
| 担当者 | 鈴木 雄清 / SUZUKI, Yusei | |
| 科目情報 | 教養科目 4 群 / 選択 / 後期 / 演習 / 2 単位 / 1 年次 | |
| 科目概要 | 授業内容 | 情報を整理・視覚化し、新たな発想を生み出すための手法について学ぶ。これらは、自由記述式の質問紙法、口頭による自由回答法の回答の分析をはじめ、企画、会議、プレゼン、人材育成、情報収集と分析など様々な場面での応用が可能である。 |
| | 到達目標 | マインドマッピングや、グループワークによるブレインストーミング、親和図法等によって、情報を整理し視覚化するとともに新たな発想ができるようになることを目指す。 |
| 授業計画 | <p>【1】 (1) ガイダンス、マインドマップの作成 (2) マインドマッピングとは、XMindの使い方 [課題1] (3) マインドマップの作成 [課題2]</p> <p>【2】 (4) ブレインストーミングとは [課題3] (5) グループによるブレインストーミング [課題4] (6) 親和図法とは、IdeaFragment2の使い方、紙切れ作り (7) 紙切れ集め、表札づくり、空間配置 (8) 空間配置、関係線の描画、A型図解化の完成 [課題5] (9) B型文章化 [課題6]</p> <p>【3】 (10) グループによるブレインストーミング [課題7] (11) 紙切れ作り、紙切れ集め (12) 紙切れ集め、表札づくり、空間配置 (13) 空間配置、関係線の描画、A型図解化の完成 [課題8] (14) B型文章化 [課題9] (15) 総まとめ</p> | |
| 自学自習 | 事前学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・「使用教材・参考文献」を必要に応じて読む。 ・意味のわからない用語について調べる。 |
| | 事後学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習したことを活かし、課題の完成度を高める。 ・小テストや配付資料を用いて復習する。 |
| 使用教材・参考文献 | <p>【教】 授業中に配布するプリント小冊子を使用する。 加えて、コンピュータ (XMind, IdeaFragment2) を使用する。</p> <p>【参】 トニー ブザン・バリー ブザン (著), 神田昌典 (翻訳) 『ザ・マインドマップー脳の力を強化する思考技術』ダイヤモンド社, 2005年, ISBN9784478760994</p> <p>【参】 星野匡 『発想法入門』日本経済新聞社, 1989年, ISBN9784532014025</p> <p>【参】 川喜田二郎 『続・発想法』中公新書, 1970年, ISBN9784121002105</p> | |
| 成績評価方法と基準 | <p>〈方法〉小テスト・課題1 (5*2), 課題2 (10%), 課題3 (5%), 課題4 (5%), 課題5 (20%), 課題6 (5%), 課題7 (5%), 課題8 (30%), 課題9 (10%) の累積で評価する。1回の欠席につき5点を減点する。</p> <p>〈基準〉すべての小テストと課題の合格を単位取得の条件とする。</p> | |
| 備考 | 指定文献を読書していないと解答できない課題を課す。 | |